

令和 9 年度採用 茨城県立高等学校等校長選考試験について

1 目的

- ・ 本県においては、「第 3 次 茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦～」に基づき、「生きる力」をはぐくむ教育を推進するとともに、グローバル社会で活躍できる「人財」に向けて、様々な施策を展開
- ・ 県立高等学校改革プランでは、新たな価値を創造する「起業家精神」を育成するため、これまでに県内各地に中高一貫校を設置し、探究活動、国際教育、科学教育等に重点を置いた教育を 6 年間で計画的・継続的に展開
- ・ また、全国初となる I T 科の専科高校及び県内初となる科学技術科を有する高校の 2 校を開校し、情報化の急速な進展に対応できる実践的な情報活用能力と、社会の諸問題を分析・解決できる能力を培い、将来 I T 分野で活躍できる人財を育成
- ・ さらに、外国人生徒等への支援を充実させ、日本語を母語としない生徒も個々の能力を発揮できる教育体制を構築することで、地域社会の担い手となる人財を育成
- ・ 各学校をさらに前進させていくリーダーとして、これまでのキャリアで培われたマネジメントのノウハウを十分に発揮するとともに、新たな発想に基づく新しい時代の学校を担える方を求めるため、公募による選考試験を実施

2 内容

項目	内容
① 求める人物像	・ 高い倫理観、優れたリーダーシップ及び組織マネジメント能力を有する者 ・ 過去の事例にとらわれない柔軟な発想力と企画力を有する者 ・ 社会の変化への対応力と先見性を有する者 ・ 地域の教育資源を取り込んだネットワークづくりの推進力を有する者 ・ 学校現場の課題を解決できる実行力を有する者 ・ 多文化共生社会の中で多様な人財育成への発想力を有する者
② 配置予定校	・ 7 校：併設型中高一貫教育校 4 校（太田一、土浦一、下館一、下妻一） 中等教育学校 2 校（勝田、並木） 高等学校 1 校（つくばサイエンス）
③ 応募資格	・ 茨城県公立学校教職員で管理職（校長・副校長・教頭）経験を有する者 ・ 国家公務員、地方公共団体職員（茨城県を含む）、地方独立行政法人、私立学校、民間企業等、その他の事業体で管理職又はこれと同等の経験を有する者 ※年齢制限なし ※これまで本選考を受験した方、任期満了となる現職公募校長も受験可
④ 選考方法	公募による ・ 第 1 次選考：書類等選考（提出書類及び A I 面接〔録画型面接〕の審査） ・ 第 2 次選考：個人面接①（オンライン） ・ 第 3 次選考：個人面接②（対面、リファレンスチェック・バックグラウンドチェック併用） ※配置予定校に現在勤務している校長が校長公募に出願した場合、第 1 次・第 2 次選考を免除
⑤ 任用形態	茨城県公立学校教職員の方 ・ 特定任期付職員（4 年間）として採用 ・ 1 年目から原則として校長に登用 茨城県公立学校教職員以外の方 ・ 特定任期付職員（4 年間）として採用 ・ 1 年目は原則として副校長、2 年目から校長に登用（勤務状況等確認） ・ 民間企業等に在籍したままの採用も可能 ※任期満了後に本選考による校長を希望の場合、本選考を再度受験することが可能。配置校は県教育委員会が決定する。
⑥ 給与等	・ 一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成 15 年茨城県条例第 6 号）等の規定に基づき支給
⑦ 欠格事項	・ 地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号）第 16 条各号 ・ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 9 条各号

3 スケジュール（予定）

① 実施要項の配布	令和8年7月31日（金）から	配布場所：県教委HP
② 応募期間 第1次選考 （書類等選考）	令和8年8月3日（月）から 8月30日（日）まで	受験者は、エン株式会社が運営する転職サイトに会員登録し、転職サイトを通じて申し込む。
③ 第2次選考 （個人面接①）	令和8年10月	[オンライン面接]
④ 第3次選考 （個人面接②）	令和8年11月	[対面面接] 最終選考
⑤ 合格発表	令和8年12月	結果通知、合格人数公表

【参 考】

○令和8年度採用（令和7年度実施）校長公募選考試験結果

1 応募状況

区分	男	女	計
応募者数	636名	36名	672名

2 選考結果

（1）最終合格者 1名

（2）選考の経過

区分	選考方法	合格者数
第1次選考	書類選考	44名
第2次選考	オンライン面接	14名
第3次選考	対面面接	5名

○校長公募による採用状況

R2採用	太田第一高等学校・附属中学校	校長（R4末退職）
	鉾田第一高等学校・附属中学校	校長（R6末～更新）
	竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校	校長（R6末～更新）
R4採用	水戸第一高等学校・附属中学校	校長（R7末退職）
	土浦第一高等学校・附属中学校	校長（R7末退職）
	水海道第一高等学校・附属中学校	校長（R7末退職）
R5採用	下妻第一高等学校・附属中学校	校長
	つくばサイエンス高等学校	副校長（R5末退職）
	勝田高等学校・勝田中等教育学校	校長
R6採用	IT未来高等学校	校長
	古河中等教育学校	校長
R7採用	鹿島高等学校・附属中学校	校長
R8採用	日立第一高等学校・附属中学校	校長
	水戸第一高等学校・附属中学校	校長
	水海道第一高等学校・附属中学校	校長
	結城第一高等学校	校長
	石下紫峰高等学校	副校長

※R8採用の民間出身者1名は、R9年度から校長として任用予定